



## 令和4年分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和4年分について、輸出額は「石油製品」、「映像機器」、「自動車の部分品」などが増加したことから、対前年比 22.9%の増加となった。また、輸入額は「原油及び粗油」、「液化天然ガス」、「石炭」などが増加したことから、同 65.7%の増加となった。

その結果、差引額は1兆4,605億円（同 121.3%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	1兆0,540億円	+22.9%	2兆5,144億円	+65.7%	▲1兆4,605億円	+121.3%
	2年連続の増加		2年連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸 出	増加品目	(1) 石油製品	1,334億円	+163.3%	輸 入	増加品目	(1) 原油及び粗油	1兆3,810億円	+81.2%
		(2) 映像機器	647億円	1,554倍			(2) 液化天然ガス	4,378億円	+71.5%
		(3) 自動車の部分品	934億円	+50.2%			(3) 石炭	1,300億円	+189.1%
	減少品目	(1) 通信機	3億円	▲99.1%		減少品目	(1) 船舶類	—	全減
		(2) 科学光学機器	98億円	▲65.5%			(2) 半導体等電子部品	19億円	▲63.6%
		(3) プラスチック	663億円	▲12.2%			(3) 電気回路等の機器	54億円	▲24.3%
地域別動向	アジア、大洋州が増加、アフリカは減少				地域別動向	中東、大洋州が増加			

（参考）ドルレートは、130.77円（前年比 19.5%、21.36円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。